

～令和5年度飛騨市公民館講座開催レポート 第12号～

【門松を作ろう！】

12月17日(日)に、毎年恒例となった正月飾り「門松」を作る講座を郷土民芸会館と神岡町公民館で開催し、合わせて13名に参加していただきました。講師には、植木職人の林賢司氏にお願いしました。

松や竹などを使って高さ50cmほどのミニサイズの門松を1対(2個)作成しました。

ブリキの缶に荒縄を巻き付けたり、竹を切り口が斜めになるようにのこぎりで切ったりとなかなか慣れない作業に悪戦苦闘しながらも

講師の指導を受け、参加者同士で助け合って作成していました。竹の高さを調整し、松の枝も見栄えが良くなるように剪定し、荒縄を巻いた缶に立て、周りには砂を入れます。葉ボタンや獅子舞の飾りなどを周りに飾りつけ、それぞれ自分好みに全体を整えて完成させていました。

参加者からは、「竹を切ったり縄を縛ったりすることが大変だったけど、自分で作った門松がいとおいしい感じで素敵なお正月を迎えることができます。」「こんなに本格的に作るとは！今まで「門松あるな～」の感覚で見えていたものが、竹の意味を知り、自分で作ることでこれからの門松を見る意味が変わってきました。」「竹を切る時などどうなる事かと思いましたが、何とか出来上がりました。新しい年へのいろんな思いを込めながら作成しました。」といった感想がありました。

